

令和6年2月15日

10時35分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 9 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 浜田市の医療と介護について

(1) 医療について

- ① 今月13日に市内医療機関において、婦人科の設置をしていただけることが決まり、「婦人科診療開設等支援事業」による支援を行うと通知を受けました。令和6年度当初予算に計上されていますが、どのような診療が行われるのか伺います。
- ② 昨年12月12日の福祉環境委員会において、市内の産婦人科医院の閉院について説明があり、婦人科領域の一次診療への協力について、医師会理事会でかかりつけ医療機関で対応可能な症状について、診察していただくようお願いしたとのことでしたが、新たな婦人科の設置がされても協力をいただくのか伺います。
- ③ 医療に詳しい方から、産婦人科医院が少ないことで受診機会が制限され、そのことが婦人科系疾患の発見の遅れに繋がるとの意見を伺いました。浜田市でもそのような現状が見られるのか伺います。
- ④ 医療センターの診療科の縮小や市内医療機関の閉院など、今後の浜田市における医療体制の維持に不安を感じます。併せて通院のための交通手段の確保も課題となっていることから、訪問診療や遠隔診療も検討する必要があると考えます。
- ⑤ 带状疱疹ワクチンの接種助成については、これまでも訴えさせていただきましたが、その後調査、研究等を行われたか伺います。
- ⑥ 文部科学省が学校健診について、児童生徒のプライバシーに配慮した環境整備に関する通知を都道府県に出しました。浜田市の対応について伺います。

(2) 介護について

- ① 介護人材の不足により、介護事業所のサービス縮小が見受けられます。浜田地区広域行政組合では介護人材の不足を補完するために、「介護応援隊」の事業を実施していますが、登録も少なく実施が進んでいない状況です。この事業に対する市の連携はどのように行われているのか伺います。

- ② 訪問入浴事業については、3月末をもって廃止されることが示されました。他のサービスに移行できない方があれば、市として支援策を講じるとのことでしたが、その後の状況を伺います。
- ③ 国は訪問介護事業所の収益が良好であるとして、2024年度から訪問介護サービスの介護報酬基本料を引き下げます。一部の訪問サービス事業者の方にお話を伺いましたが、とても収益が良好な状況ではないとのことでした。市内事業者の実態をしっかりと確認した上で、実態を国に強く訴えるなどの取組が必要と考えますが、ご所見を伺います。
- ④ 難聴により外出機会が減ることで、認知症の発症リスクが高まると言われています。これまでも加齢性難聴の方に対する、補聴器購入助成制度の創設を求める請願の提出や、議会質問が行われてきました。介護予防を強化するためにも、聴こえの改善を図ることは重要なことから、今後の市の取組をどのように進めていくのか改めて伺います。